

見学申込み上の注意

見学費 第1班 400円, 第2班~第11班 600円 (バス代, 昼食代にあてます.)

- 1) 見学者は必ず本会制定の会員章を佩用のこと。
- 2) 見学は1人1班とし, 申込みの際に第3希望まで順位を記入すること。
- 3) 見学申込は**3月10日締切**, 希望者多数の場合抽せんにより決定いたします。
- 4) 見学は各班とも貸切バスによります。
- 5) 会費は見学申込と同時に**現金書留**にてお払込み下さい。(会費添付なきお申込みは受けません)
- 6) 見学班決定後の不参加者には見学費の払戻しは致しません。
- 7) 第1班の往復汽車賃は各自負担といたします。
- 8) 集合時間は同時出発の予定につき厳守のこと。
- 9) 集合場所は第1班(日立駅海岸口)を除き, **東京駅丸ノ内北口前広場**です。
- 10) 解散場所は第1班, 第6班を除き**東京駅丸ノ内北口前広場**です。
- 11) 見学券は**3月20日**頃発送いたします。

金属材料の強度と疲労に関する総合シンポジウム (第7回)

日本鉄鋼協会, 日本機械学会, 日本金属学会, 日本材料試験協会, 日本物理学会 共催

(趣旨) 金属材料の降伏破壊, 疲労, クリープなど強度上の諸問題は, 物理学, 金属学, 冶金学, 応用力学など諸分野に関連しておりますので, 上記関連諸学会共催の下にこれまで毎年春表記シンポジウムを開催して来ましたが毎回きわめて盛会であります。今回は下記項目につき最近の研究発表, 総説, 展望的解説, 問題点の提起, 活発な討論などを行ないたいと思います。

日 時 昭和 37 年 4 月 2 日 (月) 9.20~17.00

会 場 東京大学工学部 2 号館大講堂

プログラム

題 目	時 刻	講 師	師 (敬称略)
開 会 の 辞			日本材料試験協会 会長
(1) 塑性変形の X 線的研究	9.20~10.00	東北大学教授(金属)	工博 辛島 誠一
(2) 金属強度の温度依存性	10.10~10.50	京都大学教授(航空)	工博 田中吉之助
(3) 金属材料の加工硬化, クリープ及破断	11.00~11.40	九州大学助教授(応力研)	北島 一徳
(4) 純金属の高温疲労	11.50~12.30	東北大学教授(金研)	理博 竹内 栄
		東北大学助教授(金研)	本間 恒夫
昼 食	12.40~13.30		
(5) 衝撃における金属の挙動について	13.30~14.10	東京工業大学教授(金属)	工博 作井 誠太
(6) 応力解析と強度	14.20~15.00	慶応大学助教授(機械)	工博 国尾 武
(7) 大型鑄鍛鋼品の強度に関する諸問題	15.20~16.00	日本製鋼所 研究所長	工博 下田 秀夫
		日本製鋼所 研究所	工博 渡辺 十郎
(8) 大型鍛工品の強度の諸問題	16.10~16.50	東芝中研 副部長	工博 桂 伊津美
閉 会 の 辞			日本機械学会 会長

資料 前刷(タイプ騰写印刷約 100ページ, 1部送料とも 250円)がありますから希望者は代金を添えて3月20日までに仙台市南町69 日本金属学会宛お申込み下さい。(以後は当日会場売り)

新版鉄鋼便覧の発刊予告および会員特典について

去る昭和33年9月に当時の塩沢会長を委員長として改編委員会を設け編集中でありました新版鉄鋼便覧は、改編委員および執筆者各位のお骨折により、いよいよ本年の春季講演大会を期して来る3月末に発刊の運びとなりました。新版鉄鋼便覧は現鉄鋼便覧刊行以後のわが国鉄鋼業のいちじるしい発展、新技術の開発、設備の新設改造等に鑑みまして現便覧の内容を根本的に改め、最新のデータを多く盛り込みましたもので、会員各位の座右において活用されるに一層便利なものとなりえますことと信じます。

しかし新版鉄鋼便覧は総ページ数 1970 ページの大冊となり、定価も 4300 円の高額となりましたので、本会会員のための特典につき検討しました。会員特価を設けて別送するといいたしますと、相当多額の郵税を必要とし、また郵送の途中破損のおそれがありますので、会員特価は設けぬこととしました。そのかわり同書を講入された会員各位が同書奥付右下に印刷してあります本協会マークを切り取り、「鉄と鋼」第4号（来る3月発行の講演大要号）に綴込みの葉書の指定箇所貼りつけ所定事項を御記入の上、本年4月末日までに本会あて郵送されます場合には、これをもって次回御送金の協会会費の一部（金 300円）に充当することといたしました。ただし1人につき1冊、維持会員については1口につき1冊に限ります。この特典を御利用下さるよう予めご案内申し上げます。

「鋼管に発生するキズの分類」有償頒布について

鉄鋼技術共同研究会鋼材部会鋼管分科会では、このたび「鋼管に発生するキズの分類」（B5版アート紙約80ページ）を編集し、会誌「鉄と鋼」第48年 第5号（4月号）付録として発行することになりました。（ただし会員に無償配付はいたしません）

同書は写真を主体に鋼管に発生するキズの名称（日本名、欧名）、発生場所、原因、特徴を明らかにし、さらに鋼管製造工程とキズ発生との関連性、慣用名称と正式名称との対照表などを、継目無鋼管と溶接鋼管とに分けて記載したもので、製造者、使用者にとって貴重な資料であります。ご希望の方には有償頒布いたしますから、来る3月15日までに日本鉄鋼協会あてお申込み下さい。

定 価 400 円、送料約 80 円 申込締切 昭和 37 年 3 月 15 日
 申込先 東京都中央区宝町 2~4 第二ぬり彦ビル7階 日本鉄鋼協会

東海支部学術講演会講演募集

本会東海支部では、日本金属学会東海支部と共催で下記により、学術講演会を開催いたします。ついては一般から講演募集をいたしますが、とくに同地方会員はふるつてご応募下さい。

期 日 昭和 37 年 5 月中旬 講演申込締切 昭和 37 年 3 月 15 日（厳守）
 申込要領 講演題目、講演者（共同研究者のある場合は講演者に○印を付す）所要時間、幻灯要否を明記の上、下記宛申込むこと。
 申込先 名古屋市千種区不老町 名古屋大学工学部金属事務室内
 日本鉄鋼協会東海支部

九州支部渡辺(義介)記念講演会開催について

本会九州支部は渡辺（義介）記念講演会を下記により開催いたしますので、多数御参加下さいますよう御案内申し上げます。（参加費 無料）

記

1. 日 時 昭和37年3月3日（土）13:30~15:50,
2. 場 所 九州工業大学記念講堂
戸畑市中原（西鉄九工大前電停下車、徒歩約3分）
3. プログラム
 1. 映 画 「住友金属」住友金属工業株式会社提供……………（約50分）
 2. 講 演 最近の「耐熱材料」の発達について……………（約1時間半）
九州工業大学名誉教授 前九州工業大学学長 工博 嘉村 平 八 君

第6回 材料試験連合講演会講演募集要項

- 共 催** 日本学術会議材料試験研究連絡委員会、日本鉄鋼協会ほか 14 学協会
(幹事学会：日本材料試験協会、日本化学会、日本航空学会)
- 日 時** 昭和 37 年 10 月 11 日 (木) 12 日 (金) の両日
- 会 場** 京都大学工学部共同講義室
- 講演申込**
1. 参加学会所属の会員は当該学会を通じて申込み、参加学会会員以外の方は直接幹事学会に申込みのこと。
 2. 講演内容はすでに発表されたもので差支えないが、最近の研究に属するものが望ましい。なお、研究内容は材料の諸物性、諸性質の測定および試験ならびに材料の適切な使用に関する研究を包含する。
 3. 講演時間は約 20 分 (討論を含む) の予定。
 4. 講演の採択などは材料試験連合講演会運営委員会に一任されたい。
 5. 申込用紙は B 5 版とし、つぎの事項を必ず記載すること。
 - a. 講演題目, b. 梗概約 200 字, c. 講演部門名, d. 講演ならびに連名者の各氏名, 勤務先, 通信先, 学会員資格, 年令 (連名の場合には登壇者に○印をつけること。), e. 講演題目, 氏名, 勤務先には英文を付記すること, f. スライド使用の有無 (大きさは 35mm), g. 欧文論文集 (付記参照) へ投稿希望の有無。
- 注. 第Ⅰ部 金属材料, 第Ⅱ部 非金属材料 (有機物, 無機物) 第Ⅲ部 一般 (材料試験機その他)
- 申込締切** 昭和 37 年 6 月 30 日 (土)
- 講演前刷** 聴講者のテキストとし、あわせて講演時間の短縮、掛図などの節約のため、講演者全部の講演前刷を作るので講演者は前刷原稿を必ず期日までに所属学会へ (参加学会会員以外の方は申込んだ幹事学会へ) 提出されたい。
- a. 講演前刷原稿提出期日 7月31日 (火) b. 前刷原稿は規定の原稿用紙 2 枚以内 (図表、写真を含めて邦文で約 2,600 字) に明瞭に墨書し、なるべく余白を避けるよう留意のこと。c. 講演前刷はオフセットになるので写真も入れられる。原稿用紙は講演申込者に所属学会から送り、所定用紙以外の用紙に書いた原稿は受けない。
- (付記) 欧文論文集について、材料試験連合講演会論文集刊行会より **Proceedings of the Sixth Japan Congress on Testing Materials** を刊行し、諸外国にも頒布の予定である。本論文集に登載される論文は今回発表されたもので、欧文で未発表のものに限る。投稿希望者には材料試験連合講演会論文集刊行会より送られる規定原稿用紙に執筆し、**9月29日 (土)** までにあらかじめ提出すること。当日以降の提出原稿は受理しない。また、不備な原稿は返却することがある。

社団法人 日本鉄鋼協会 共催 第12回各社製品展示会開催について
社団法人 日本金属学会

出 品 規 定

1. 会 場 東京都文京区本富士町 東京大学工学部 1号館 2階
2. 会 期 昭和37年 4月 3日, 4日, 5日の 3日間
3. 展示料金 テーブルごとに (大) 10,000円 5・8尺×2・8尺 (使用テーブルに制限なし)
(小) 8,000円 3・8尺×2・8尺
使用料金は準備の都合上会期前に必ず全額を頂きます。入金後諸手続のうえ必要書類を差上げます。本会運営上会期中に精算するため昨年度より前金制度を実施いたしております。
4. 申込期日 昭和 37 年 3 月 15 日限り
あらかじめ出品目録を印刷、大会参加会員に配布しますからなるべく早目に出品物名称記入のうえお申込み下さい。テーブル数に制限がありますから期日前に締切のこともあります。
5. 申込および送金場所 東京都文京区本富士町 東京大学工学部冶金学教室内 日本金属学会東京事務所
6. 連絡事務所 東京都中央区銀座西 8ノ3 小鍛冶ビル
有限会社 明報社 内 電話銀座 (571) 2548・2849
日本金属学会中央連絡所 都 筑 賢 蔵
7. 搬入場所 東京大学工学部 1号館 2階
8. 搬入日時 昭和37年 4月 2日 9時より15時まで
9. 搬出日時 昭和37年 4月 5日 5時より17時まで
そのほか詳細は前記中央連絡所にお問合わせ下さい。

日本学術会議有権者登録について

日本学術会議第6期会員選挙が本年11月25日におこなわれますが、有権者名簿の登録について下記のごとく連絡がありましたのでお知らせいたします。なお詳細については学術会議にお問合せ下さい。

1. 登録用カードの提出について

1 前回(昭和34年)の選挙の有権者については、前回提出のカードにより、昨年12月に資格審査が行なわれました。これに関し、日本学術会議中央選挙管理会から特別の通知のなかつた方は、すべて有権者名簿に登録されますから、あらためて登録用カードを提出する必要はありません。ただし、前回の登録における所属以外の部または専門で今回の登録を求めようとする方は、左記様式第1の「所属部または専門変更届」を添えて、登録用カード用紙を請求し、次項2に準じ新たに登録を求めてください。

2 前回の有権者以外の方および前回の選挙の有権者で中央選挙管理会から特別の通知のあつた方が、新たに今回の登録をを求める場合は、中央選挙管理会に登録用カード用紙を請求入手のうえ、きたる4月30日までに中央選挙管理会に必着するよう登録用カードを提出しなければなりません。

5月1日以後に到着した登録用カードは、中央選挙管理会で保管して、次回(昭和40年)の会員選挙の登録用カードとして取り扱います。

3 今回「資格審査基準」が前回よりも具体的に定められましたので、登録用カードの記入にあつては、中央選挙管理会から登録用カード用紙に添えて送付する「選挙説明書」第2ページをじゆうぶんに参照してください。

2. 登録用カード用紙の請求について

1 登録用カード用紙の請求に関し、大学、研究機関等に対して、「登録用カード用紙請求者名簿」の提出を依頼して、便宜上これをもって「登録用カード用紙請求書」に代え、その提出された名簿に基づき、中央選挙管理会から当該大学、研究機関等あて一括カード用紙を送付します。したがつて、中央選挙管理会から名簿提出を依頼された大学、研究機関等に所属する方で、既に個人としてカード用紙を請求した方以外の方は、なるべくその所属の大学、研究機関等から提出の名簿によつて、登録用カード用紙を請求してください。(名簿によつて請求する場合は、個人からの請求は不必要ですから、重複して請求しないよう特に注意してください。)

ただし、昨年12月の資格審査の結果不認定となつた方が、あらためて登録の手続きをとる場合は、必ず、不認定に同封した「登録用カード用紙請求書」を用いて、個人としてカード用紙を請求してください。

2 前記大学、研究機関等に所属しない方等で今後個人でカード用紙を請求する方は、下記様式第2により「登録用カード用紙請求書」を直接中央選挙管理会あて提出してください。

3. 有権者等の異動届について

有権者は氏名、住所、本籍、勤務機関および職名、または勤務地のいずれかに異動があつたときは、そのつどすみやかに下記様式第3により「有権者異動届」を中央選挙管理会に提出しなければなりません。これを怠るときは、有権者の権利を行使できないことがあります。

なお、登録用カード提出者は、有権者名簿に登録される以前においても異動の届を励行してください。

また、本人が死亡の場合は、その遺族からその旨を届け出てください。

日本学術会議中央選挙管理会 御中 昭和 年 月 日 第 部 学 地区 氏名(ふりがな)	様式第三 日本学術会議 会員選挙 有権者異動届 (新) (旧)	登録用カード用紙請求書 氏名(ふりがな) 住所 勤務機関および職名 (又は自営の職業名)	様式第二 (注) この変更届にあわせて必ず「登録用カード用紙請求書」を提出すること。	日本学術会議中央選挙管理会 御中 氏名(ふりがな) (現登録の所属)第 部 学 地区 昭和三十七年 月 日 私(注)は、日本学術会議の第6期選挙のための有権者名簿への登録に際しては、現在所属部又は専門への登録を希望しませんので、新たに登録を求める手続きをとりません。右お届はします。	様式第一(用紙はなるべく半紙半載大のもの又は葉書を用いてください。様式第二、第三の場合も同じ。) 所属部又は専門変更届
	五、勤務地 四、勤務機関及び職名 三、本籍 二、住所 一、氏名				

(様式第3の注) 1. 様式中の1~5のうち該当事項のみ記載すればよい。
2. 登録用カード提出者(有権者名簿に登録される以前の者)の異動届もこの様式によることとし、その場合は標題を「登録用カード提出者異動届」と置き換えること。